

# 17年平和行進 FAX News NO 02

2017年国民平和行進大分県実行委員会 連絡先・090-2511-4414 7月3日

## 引継ぎ集会に90人が参加

### 通し行進者山田太枝さんが決意

7月2日、13時に佐伯市のJR重岡駅前広場で、2017年国民平和行進宮崎～長崎コースの宮崎県から大分県への引継ぎ集会が行われ、宮崎県60人、大分県30人が参加しました。

集会は、恒例となっている延岡市からの「平和マラソン」10人の到着を待って開かれ、宮崎県代表の広野新婦人会長が「行進の大半は雨の中の行進になったが、国連で核兵器禁止条約の交渉会議が行われている中での行進であり、交渉会議に市民社会の代表が参加、発言し、条約成立に向けて大きく貢献しています。ヒバクシャ署名を積み上げ日本政府に交渉会議に参加を迫っていきましょう」とあいさつ。通し行進者の山田太枝さんは「平和行進という素晴らしい行動を昨年初めて知り、北海道～東京コースを3か月間行進しました。今年は南の宮崎～長崎コースを歩きます。宮崎県での10日間宮崎のみなさんの温かい支援に支えられて行進することができました。この素晴らしい平和行動を成功させるために頑張ります。」と決意を述べました。

### 県内通し行進者小手川さん平井さんが元気に参加

行進横断幕や通し行進旗などを宮崎県から大分県に引継ぎ、大分県代表の安藤大分県労連議長が「ニューヨークでのNPT再検討会議への参加の経験などを述べ、宮崎県の皆さんがつないできた熱い心を引継ぎ元気に大分県を歩きとおします。」とあいさつした後、大分県内通し行進者の小手川恵さんと平井千恵さんが紹介され、代表して小手川恵さんから「初めて県内通し行進に挑戦します。核兵器禁止条約が成立するという記念すべき年の行進に参加できることを光栄に感じ、最後まで歩きとおします。」と力強い決意の後、大分県行進団は宮崎県代表の皆さんに見送られて第1日目の佐伯市に向けて元気に出発しました。

### 81歳・松田さん元気に佐伯市内を行進

佐伯市弥生町在住の松田さん(81歳)が、医師の診察を受けて佐伯市内の行進に参加し鶴望公園から文化会館まで元気に歩きました。松田さんはお兄さんを長崎原爆で亡くし、お兄さんのために何かお役に立てば、と数年前国民平和行進のことを知り、地元の共産党町議を通じて行進団に募金を託したことがありましたが、何としても自分の足で行進に参加したいと佐伯市の実行委員会に申し出て実行委員会の援助での参加でした。歩き通した松田さんは「兄の心に少しでも気持ちが届いたと思います。核兵器をなくすことが兄に報いることです」と満足そうに話していました。